

提案していた事業がスタート

# 出産・子育て環境が改善へ

横浜市会議員

仁田まさとし

平成20年度の予算などを  
審議する市会第1回定例会  
が2月13日から3月25日ま  
で行われました。

子育て家庭にサービス

市内の企業やNPOなどが、  
子育て家庭を応援する

審議の結果、20年度の予  
算に、私がこれまで主張し  
ていた子育て支援などに関  
する制度・事業が盛り込ま  
れ、今年度から具体的に進  
むことになりました。

赤ちゃん家庭を訪問

地域の方々と区役所が連  
携して、生後4カ月までの  
赤ちゃんがいる家庭を訪問

カーや貸し出し用のベビ  
ーカーの設置などのサービ  
スを提供します。利用者は  
パソコンや携帯サイトから  
申し込みます。育児相談や地域の

妊婦健診補助5回に

料の補助は3回(1回47  
00円補助)まででしたが、

経済的な理由で妊婦健康  
調査が充分でない妊婦が増  
え、中には健診を全く受け  
ずに出産に臨む「飛び込み

今年度からこれが5回に拡  
充されることになりました。

出産」も発生しています。  
母子の健康を守り、安心し  
て出産を迎えるために、妊

厚生労働省は、母子の健  
康のための最低限必要な健  
診回数を5回、望ましい健  
診回数は14回との見解を示

10月ごろの開始予定です。  
赤ちゃん家庭を訪問

お店に提示してサービスが  
受けられます。この事業は

10月ごろの開始予定です。  
赤ちゃん家庭を訪問

妊婦健診の重要性は一層高ま  
るとお母さんの健康のため  
に、さらに拡充できるよう

ついでです。  
今まで、妊婦健診の受診  
に主張していきます。

## がん対策の総合的な取り組みを

市民病院では、4月から  
市長に主張しました。市長

子育て情報の

「PET・CT」によるが  
は「保健医療部門の連携を

提供を行い、

ん検診を始めました。「P  
緊急にし、効果的な事業が

産後早期の支

ET・CT」は全身の検査  
総合的に行えるようにした

援の充実を函

が可能な、転移・再発した  
い」と答弁しました。

り、子育てを

がんの発見やがんの正確な  
放射線治療やがん登録の

サポートして

位置情報の把握に有効です。  
実施なども遅れています。

いきます。来

私は2月21日の予算代表  
今後副市長プロジェクト

年1月から開

質疑に立ち、がん対策に関  
設置など、がん対策の推

始される予定

して、市の総合的な取り組  
進体制の強化を市に求めて

です。

みが必要ではないかと申田  
いきます。



### 仁田まさとし プロフィール

- 昭和31年、横浜生まれ。大岡小、浅野中・高、横浜国大卒
- 製紙会社勤務後、平成7年、横浜市会議員に(現在4期目)
- 公明党神奈川県本部幹事長、同横浜市会議員団团长
- ◇モットーは「大胆に挑戦、誠実に実現」

ホームページ <http://www.nitta-m.jp/>